

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第6回理事会 開催日：10月10日。出席者：久松会長，ほか33名

1. 金属学会との連絡会報告

○来春の講演大会

3月31日～4月2日 千葉工業大学

○来秋の講演大会

11月2日～11月4日 大阪大学

○昭和64年春の講演大会

東京大学を第一希望とする

○昭和64年秋の講演大会

北海道地区に願ひする

2. 欧文誌名変更の件

Trans. ISIJ を発行してきたが，1989年1月号より更に国際誌として一段の飛躍をはかるため，誌名を「ISIJ International」と変更することを決定し，表紙デザインも一新することになった。

研究委員会

第3回研究委員会 開催日：9月17日。出席者：田中委員長，ほか14名。

1. 昭和62年度石原・浅田研究助成金交付研究の審査

応募総数16件に対し8件を採択し理事会へ上程することとした。

2. 鉄鋼基礎研究会運営内規改訂案に対する回答の審議

3. 特定基礎研究会規定，内規改訂について

4. 金属工学関係研究調査依頼について

5. 海洋工学連絡会について

編集委員会

第7回和文会誌分科会 開催日：10月2日。出席者：鈴木委員長，ほか30名。

1. 21件の論文審査報告がなされ，掲載決定14件，照会后掲載可3件，その他4件であった。

2. 「鉄と鋼」第74年第2号（2月号）に論文16件，技術報告3件掲載決定した。

第7回欧文会誌分科会 開催日：10月16日。出席者：新居主査，ほか18名。

1. 27件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可2件，照会后掲載可3件，修正依頼19件，返却3件であった。

2. 「Trans. ISIJ」Vol. 28, No. 1 に，11件の論文と4件の New Technology を掲載決定した。

共同研究会

第97回製鋼部会 開催日：9月3，4日。開催地：新日鉄・室蘭。出席者：甲谷部会長，ほか106名。

1. 議事

(1) 特別講演

「室蘭製鉄所における製鋼技術の現状」

(2) 研究発表（重点テーマ） 9件

「連鑄片の偏析改善技術」

(3) 研究発表（自由テーマ） 14件

2. 工場見学

新日本製鉄（株）室蘭製鉄所，（株）日本製鋼所室蘭製作所

第30回電気炉部会 開催日：10月15，16日。開催地：日鋼・室蘭，豊平。出席者：小倉部会長，ほか62名。

1. 研究発表

(1) 共通テーマ 19件

「アーク炉の溶解・精錬技術について」

(2) 自由テーマ 5件

2. 工場見学

日鋼・室蘭 第一製鋼工場，第四機械工場，豊平製鋼 製造工場

第83回特殊鋼部会 開催日：10月7，8日。開催地：山特・本社。出席者：栗栖部会長，ほか97名。

1. 特別講演

「当社製造技術の現状」

山特・第二製鋼部長 福本一郎氏

2. 研究発表

(1) 共通テーマ 13件

「ステンレス鋼の連続鑄造技術の改善」

(2) 自由テーマ 9件

3. 工場見学

山特・第二製鋼工場，第二棒線工場

高級ラインパイプ研究会

高級ラインパイプ研究会 第62回HIC分科会 開催日：8月6日。出席者：田中主査，ほか10名。

1. NACE Fall Meeting について

2. B. G. C. (British Gas Cor.) に保管中のパイプ及び機材の処置

3. SSC (Sulphide Stress Corrosion Cracking) 試験について

4. その他

高級ラインパイプ研究会 第3回BT分科会 開催日：9月11日。出席者：川口主査，ほか10名。

1. Pressure Reversals の力学的検討。

(1) 文献資料 Prediction of Inelastic Crack Growth in Ductile Line-Pipe Materials (B. N. Leis 他) の検討.

2. その他.

国際会議

加工熱処理の物理冶金に関する国際会議 第5回実行委員会, 第6回実行委員会 開催日: 9月18日, 10月

6日. 出席者: 田村今男実行委員長, ほか 18 名.

1. アブストラクトの審査報告が行われ, 採用 119 件, 不採用 25 件を決定した.

2. Preliminary program の編成を行った.

3. Third (Final) circular の掲載内容を決定した.

なお, circular は 11 月に配布の予定.

4. Full paper の執筆要領を決定した.

5. その他, full paper の審査・Proceedings の編集の基本方針などについて協議が行われた.

第3回先端材料技術シンポジウム

1. 主催: 先端材料技術協会 (SAMPE Japan)

2. 協賛: 日本鉄鋼協会, 他

3. 開催日: 昭和 62 年 12 月 1 日 (火)

4. 会場: 東大生産技術研究所 第1, 第2会議室

5. プログラム 9:25~17:30

3次元曲面積層板の熱機械挙動: 次世代 R-I 成形法の開発: 高性能複合材ヘリコプタ・ブレードの試作開発: 熱可塑性 CFRP の成形性に関する基礎研究.

A Correlation Between Strength and Acoustic-Ultrasonic Signal for a CFRP: C/A ハイブリッド一方向強化 FRP 積層板の衝撃挙動と積層構成: CF/Al ワイヤプリフォームの引張強度に及ぼす CF 表面特性の影響.

Heat Resistant Composites Composing of Graphite Fiber Reinforcement and Aluminum Phosphate Bond: セラミックスの動的破壊靱性評価: き裂進展抑制機能を有する金属繊維で強化された脆性マトリクス複合材料の破壊挙動: アトムプローブの鉄鋼への応用: 第19回 SAMPE 国際技術会議論文動向.

6. 参加費: シンポジウム 囲む会

協賛学協会員 ¥ 3,500

学 生 ¥ 2,500

7. 問合せ, 申込先:

東京都品川区上大崎 3-1-5

目黒駅東口ビル 301 〒141

先端材料技術協会 (SAMPE Japan)

TEL: 03-449-0091 FAX: 03-446-0420

第3回環境工学連合講演会

(3rd National Congress for Environmental Studies)

統一テーマ「人間と環境のシステム」

1. 主催: 日本学術会議環境工学研究連絡委員会

2. 共催: 日本鉄鋼協会, 他 日本建築学会

3. 日時: 昭和 63 年 3 月 28 日 (月), 29 日 (火)

4. 場所: 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木)

電話 03-403-6291

5. 申込先: 108 東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号

(社) 日本建築学会内

「第3回環境工学連合講演会係」宛

TEL. 03-456-2051, FAX. 03-456-2058

6. 参加料: 無料.

講演論文集 (定価約 2,500 円) 販売予定.

訂 正

論文「低合金鋼における凝固・冷却中のオーステナイト粒成長に及ぼす合金元素と冷却速度の影響」(鉄と鋼, 73 (1987) 14, p. 1738) 中に, 誤りがございましたので, 次のとおり訂正させていただきます.

	(誤)	(正)
p. 1743 式 (2)	$D^3 - D_0^3 = C \int_{T_r}^{1273} t \exp\left(-\frac{Q}{RT}\right) dt$	$D^2 - D_0^2 = C \int_{T_r}^{1273} t \exp\left(-\frac{Q}{RT}\right) dt$